

【要旨】

中国は、1980、90年代の二度に渡って行われた金融改革を経て、かつて集権的金融制度から新型国営銀行制度に転換した。それに伴い、1979年の「改革開放」体制への転換によって市場経済的要素を取り入れた経済活動を、もっぱら金融面から育み促進する役割を果たすことが要請された。中国は1980年代後半から市場経済化のスピードが加速し、そのさい公的金融の役割は不可欠だと考える。本論文は、中国の公的金融の歴史的な背景の考察を含め、「改革開放」体制下の中国経済の発展と政府系金融機関の経済発展へのコミットメントの在り方を振り返って分析する。また、中国の政府系金融機関の機能と役割を評価する。